

クラウド型Emailゲートウェイセキュリティサービス
Email Security R2 あんしんプラス
導入手順マニュアル

Version 1.1

日本事務器株式会社

改版履歴

Version	日付	変更内容
1.0	2020/07/17	新規作成
1.1	2025/08/06	コンソール画面変更のため修正

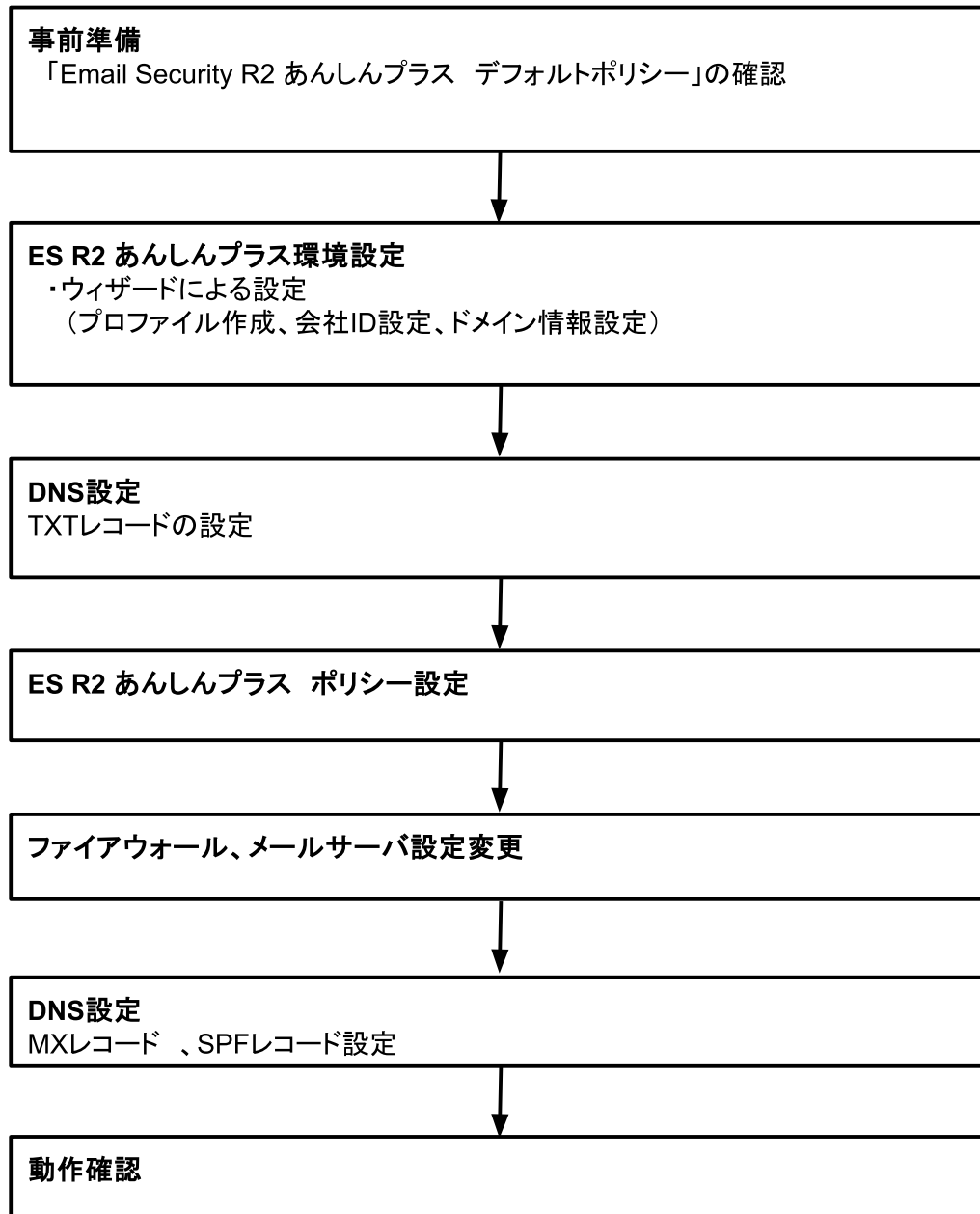
目次

1. はじめに	4
2. 導入の流れ	4
3. 設定	5
3.1. ログイン	5
3.2. ライセンス契約の同意	6
3.3. 設定ウィザードによる設定	7
3.4. DNSへTXTレコードの設定	9
3.5. 受信保護設定	11
3.6. 送信保護設定	12
3.7. 隔離設定	16
3.8. テストメッセージの送信	16
3.9. Microsoft 365をご利用の場合	17
4. ファイアウォールの設定変更	18
5. DNSの設定変更	19
5.1. MXレコードの設定	19
5.2. SPFレコードの変更・追記（送信保護を有効にする場合）	20
6. 動作確認	22
6.1. ステータスの確認	22
6.2. 受信テスト	22
6.3. 送信テスト	23

1. はじめに

本マニュアルは、Email Security R2 あんしんプラス（以下「ES R2 あんしんプラス」と称す）の導入手順マニュアルです。導入までの手順について説明いたします。

2. 導入の流れ



3. 設定

3.1. ログイン

お客様サイトへのログイン情報は別途メールをお送りしております、
「[通知] あんしんプラス アカウント登録完了のお知らせ」に記載されております。

サービスを利用するには、下記のURLからログインしてください。

* ログインURL : <https://clp.trendmicro.com/Dashboard?T>

メールに記載されているURLへアクセスし、アカウントとパスワードを入力してログインします。



※あんしんプラスサービス（VBBSSやCloud Edgeなど）を既に導入している場合

→アカウントとパスワードは同じになります。

※ES R2 あんしんプラス以外にあんしんプラス製品を導入していない場合

→「[通知] あんしんプラス アカウント登録完了のお知らせ」よりログインID（アカウント）を確認してパスワードの発行をおこないます。

アカウントの登録が完了しました。すぐにサービスをご利用できます。

【ログインID】

【パスワード】

はじめに次のURLをクリックし、パスワード発行の手続きを行ってください。

<https://forgetpwd.trendmicro.com/>

※このURLは7日間のみ有効です。

サービスを利用するには、下記のURLからログインしてください。

* ログインURL : <https://clp.trendmicro.com/Dashboard?T>

ご不明な点などございましたら、下記のサポート窓口までお問い合わせください。

ログイン完了後、Email Security R2 あんしんプラスの「コンソールを開く」をクリックします。

NJC

ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス™ あんしんプラス

管理コンソール

登録済みの製品/サービスヘルプ

製品/サービス

+ キーの入力

サービスプラン名	製品/サービス	シート/ユニット	ライセンス種別	開始日	有効期限	アクション
Cloud Edge 100 G2 クラウドサンドボックスオプション	Cloud Edge 100 G2 クラウドサンドボックスオプション	1 Appliance/HW	製品版	2020/03/13	自動更新	コンソールを開く
Cloud Edge 100 クラウドサンドボックスオプション	Cloud Edge 100 クラウドサンドボックスオプション	1 シート	製品版	2018/12/05	自動更新	コンソールを開く
Cloud Edge SB クラウドサンドボックスオプション	Cloud Edge SB クラウドサンドボックスオプション	1 Appliance/HW	製品版	2018/12/05	自動更新	コンソールを開く
Cloud Edge あんしんプラス100	Cloud Edge 100	2 シート	製品版	2016/02/10	自動更新	コンソールを開く
Cloud Edge あんしんプラス100 G2	Cloud Edge 100 G2	1 Appliance/HW	製品版	2020/03/13	自動更新	コンソールを開く
Cloud Edge あんしんプラスSB	Cloud Edge SB	1 Appliance/HW	製品版	2018/12/05	自動更新	コンソールを開く
Email Security R2 あんしんプラス ライト	▼ TMEs Advanced (2 コンポーネント)	10 シート	製品版	2025/05/15	自動更新	
コンポーネント						
TMEs: Sandbox as a Service						
Trend Micro Email Security Advanced 本体						
コンソールを開く						

SSDA あんしんプラス	▶ DS Agent Enterprise (3 コンポーネント)	1 OS	製品版	2015/12/07	自動更新	
--------------	-----------------------------------	------	-----	------------	------	--

3.2. ライセンス契約の同意

内容を確認していただき、ライセンス契約に同意

ライセンス契約

日本のお客さま

=====

本製品の使用許諾契約の内容につきましては、製品インストールメディア内に格納されている使用許諾契約書をご確認ください。
格納されている使用許諾契約書と当社Webサイトに掲載している使用許諾契約書に異なる定めがあった場合には、当社Webサイトに掲載されている使用許諾契約書が優先されます。
また、CD-ROMなどのインストールメディアのない製品やサービスにつきましては、当社Webサイトに掲載している契約書をご確認くださいようお願いいたします。

<http://www.trendmicro.co.jp/support/eula>

For other countries/languages

=====

Please open below link in your browser and read the Trend Micro End User License Agreements.

<https://www.trendmicro.com/eula>

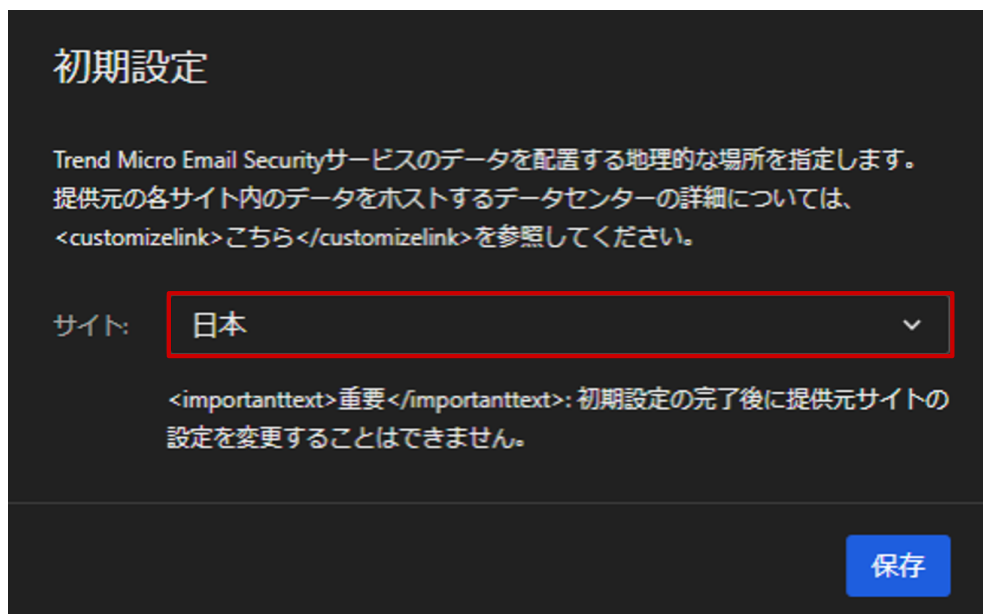
同意する キャンセル

3.3. 設定ウィザードによる設定

①初期設定をします。

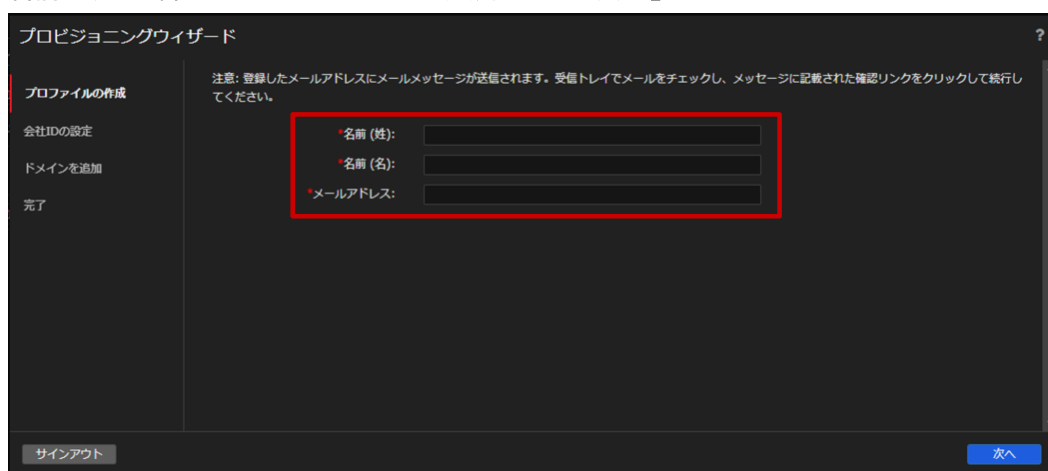
データを配置するサイトを選択します。

日本国内においては”日本”サイトのみサポートを提供いたします。そのため、こちらの選択画面ではプルダウンメニューより”日本”を選択し、「保存」をクリックします。



②管理者プロフィール情報を入力します。

名前の姓と名、メールアドレスを入力し、「次へ」をクリックします。



③会社IDを設定します。

この会社IDに設定する内容に基づき、企業のサブドメイン・MXレコードが作成されます。

1度設定された会社IDは変更することができませんので、ご注意ください。

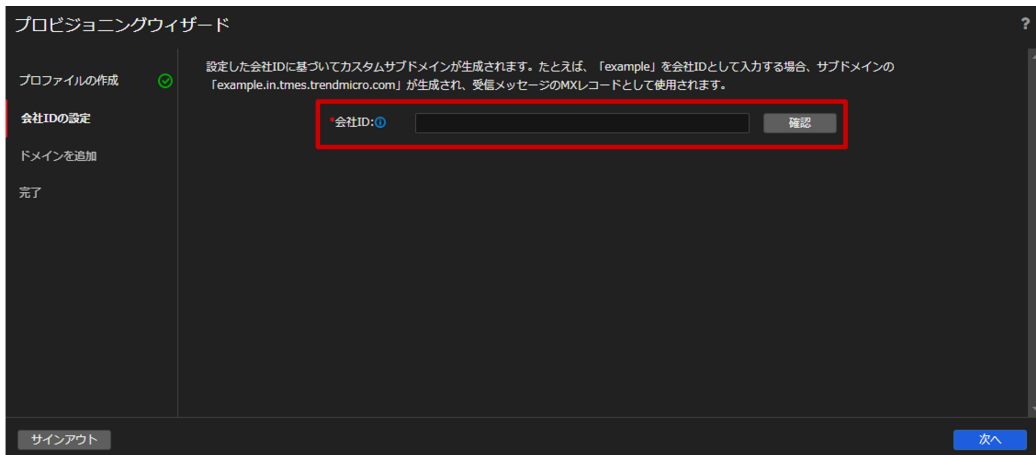
例:”example”と設定した場合、”example.in.tmems-jp.trendmicro.com”となります。

会社IDについては、3～63文字まで定義可能となり、使用できる文字は英数字とハイフン(-)になります。

「会社ID」に任意の文字列を入力し、「確認」をクリックし、入力した会社IDが使用可能かどうか確認します。

※会社IDが重複している場合には、エラーが表示されますので、その場合は別の会社IDを入力して、再度確認を実施してください。

エラーが表示されなければ「次へ」をクリックします。



- ④ドメイン情報を追加します。
保護するドメイン情報を設定します。

各項目に必要な情報を入力してください。

- (1) お客様ドメイン名 (必須)
 - (2) お客様メールの受信サーバの環境情報 (必須)
 - 「IPアドレス/FQDN」
 - 「受信ポート」 (SMTP: 25番、MSA: 587番、SMTPS: 465番)
 - 「プリファレンス値」 (受信メールサーバの優先度。値が小さいほど優先度が高い。)
- ※多数のメールサーバを用意して負荷分散や耐障害性向上を図っている場合

【参考】

- ・受信サーバがGoogle Workspaceの場合の設定値

IPアドレス/FQDN	ポート	プリファレンス値
smtp.google.com	25	1

- ・受信サーバがMicrosoft365の場合の設定値

IPアドレス/FQDN	ポート	プリファレンス値
<domain>.mail.protection.outlook.com	25	1

※<domain>部にはお客様のドメインをご記入ください。

- (3) お客様メールの送信サーバの環境情報 (任意設定)
送信メールの保護を有効にする場合、「送信保護を有効にする」へチェックを付けて送信メールサーバの環境情報を入力します。

各情報を入力し、「次へ」をクリックします。

⑤ウィザード設定完了

設定が完了すると、以下の画面が表示されます。「閉じる」をクリックしてウィザードを終了します。

3.4. DNSへTXTレコードの設定

①設定するTXTレコードを確認します。

「ドメイン」を選択し、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。

② 「ドメインの編集」画面が表示されます。

「ドメインのDNS設定に次のTXTレコードを追加します。」の下にあるTXTレコードに設定する「tmes=」で始まる値を控えます。

ドメインの編集

全般

受信サーバ
送信サーバ

全般

*ドメイン名: .net
追加するサーバで管理されるメールアドレスのアットマーク記号 (@) の右側にある文字をすべて入力してください。

ドメインが確認されていません。ドメインを所有していることを証明するには、次の手順に従ってください。

1 ドメインのDNS設定に次のTXTレコードを追加します。
tmes=

2 【確認】をクリックします。 確認

③DNSへ手順②で控えたTXTレコードを設定します。

DNSへの設定はDNS管理者へご確認ください。

④DNSへTXTレコード設定後、「確認」をクリックします。

「確認」の横に「正常に確認されました。」と表示されます。

注意：DNSの設定変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。エラーになった場合少し時間がたってから再度確認してください。

ドメインの編集

全般

受信サーバ
送信サーバ

全般

*ドメイン名: hes.njc.ne.jp
追加するサーバで管理されるメールアドレスのアットマーク記号 (@) の右側にある文字をすべて入力してください。

ドメインを所有していることを証明するには、次の手順に従ってください。

1 ドメインのDNS設定に次のTXTレコードを追加します。
tmes=98b3cdc819fdbd5d76d416d05cb044fa

2 【確認】をクリックします。 確認 正常に確認されました。

問題がある場合は、代わりにMXレコードを追加してみてください。

注意: DNSの変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。定期的にTrend Micro Email Securityによって変更がチェックされます。

3.5. 受信保護設定

「受信保護設定」をクリックして各設定を行ってください。

※「Email Security R2 あんしんプラス トrendマイクロデフォルトポリシー」を参考に
お客様の要件を確認して設定してください。

受信保護設定

組織に送信されたメールメッセージを検索するためのセキュリティ機能を設定します。

- 送受信フィルタ
 - 受信者フィルタ
 - 送信者フィルタ
 - Transport Layer Security (TLS) ピア
 - IPレピュテーション
 - 逆引きDNS検証
- ドメインベース認証
 - 送信者IP照合
 - Sender Policy Framework (SPF)
 - DomainKeys Identified Mail (DKIM) 検証
 - Domain-based Message Authentication, Reporting & Conformance (DMARC)
- ウイルス検索
 - ウイルスポリシー
 - ファイルパスワード解析
 - 検索除外
- スпамメールフィルタ
 - スパムメールポリシー
 - 高プロファイルドメイン
 - 高プロファイルユーザ
 - Time-of-Clickプロテクション
- 関連インテリジェンス
 - 関連インテリジェンスのポリシー
- コンテンツフィルタ
 - コンテンツポリシー
- 情報漏えい対策
 - 情報漏えい対策ポリシー

各設定方法はオンラインヘルプをご確認ください。

3.6. 送信保護設定

※「Email Security R2 あんしんプラス トrendマイクロデフォルトポリシー」を参考にお客様の要件を確認して設定してください。

各設定方法はオンラインヘルプをご確認ください。

Email Security R2 あんしんプラス スタンダードをご契約いただき、送信保護設定をご利用の場合、各ポリシーの通知送信にチェックを入れていただき、次の通知設定をおこないます。

例 ウイルスポリシーの通知設定

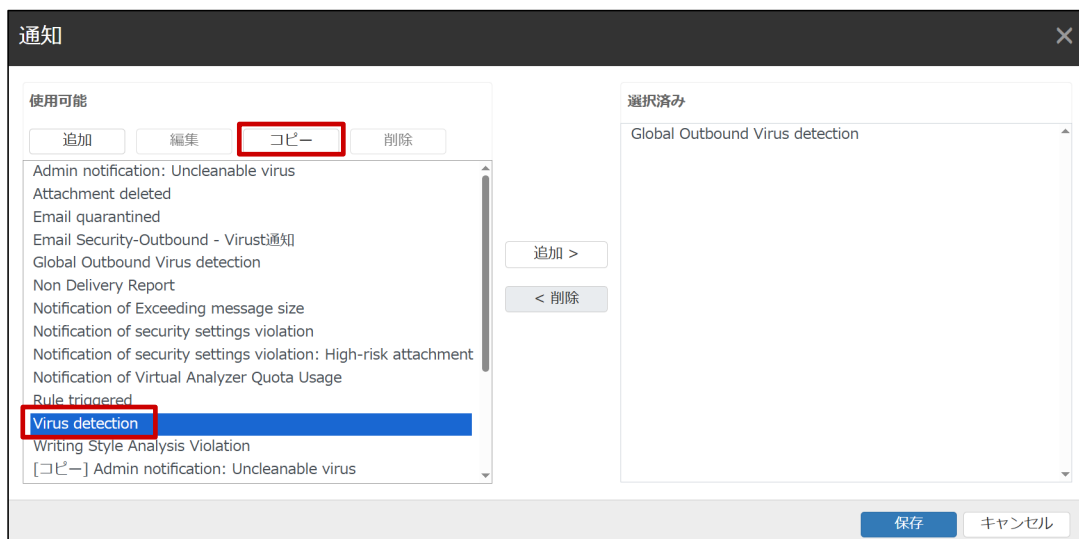
- (1) 「送信保護設定」のウイルスポリシーをクリックします。
- (2) 設定するルールをクリックします。



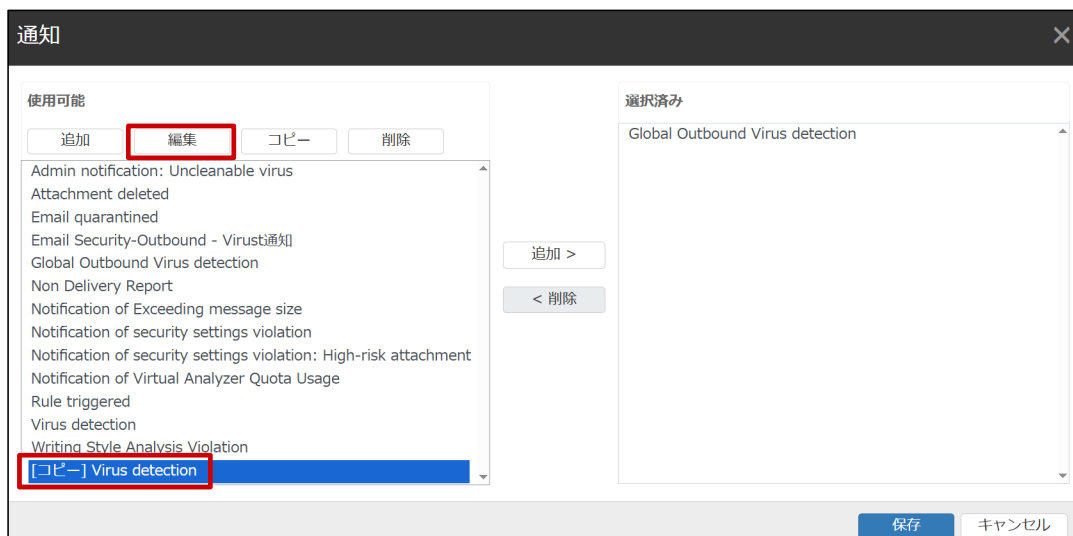
- (3) 「処理」の「通知メッセージ」をクリックします。



- (4) ルールに対応したメッセージを選択し、「コピー」をクリックします。
※例 ここでは「virus detection」を選択します。



- (5) コピーされたメッセージを選択し、「編集」をクリックします。



- (6) 通知の編集の各項目に入力し、「保存」をクリックします。

差出人：ご担当者様のメールアドレス

宛先：anshin-support@njc.co.jp;nishinami@njc.co.jp

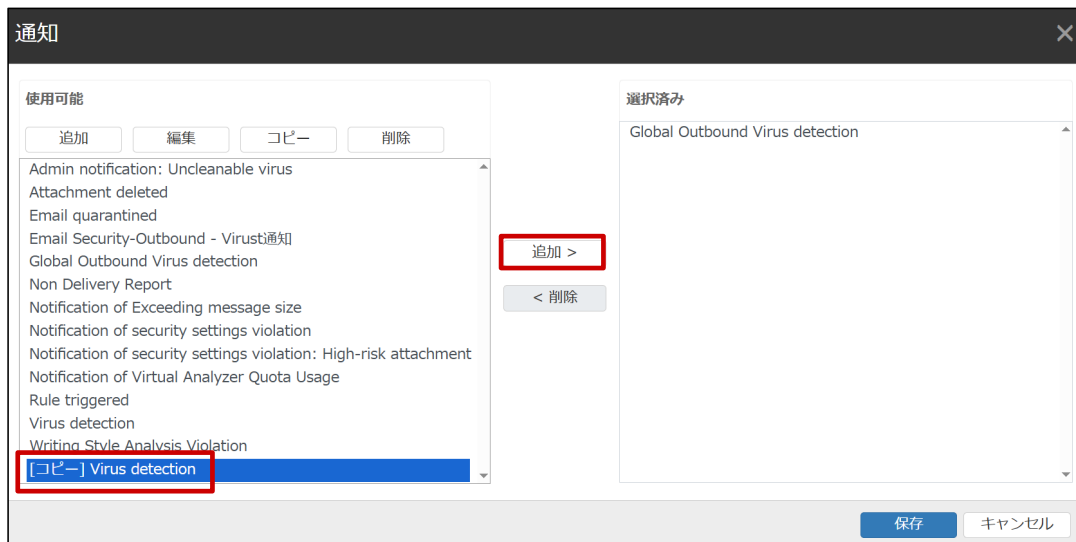
※受信者にチェックが付いている場合、チェックを外します。



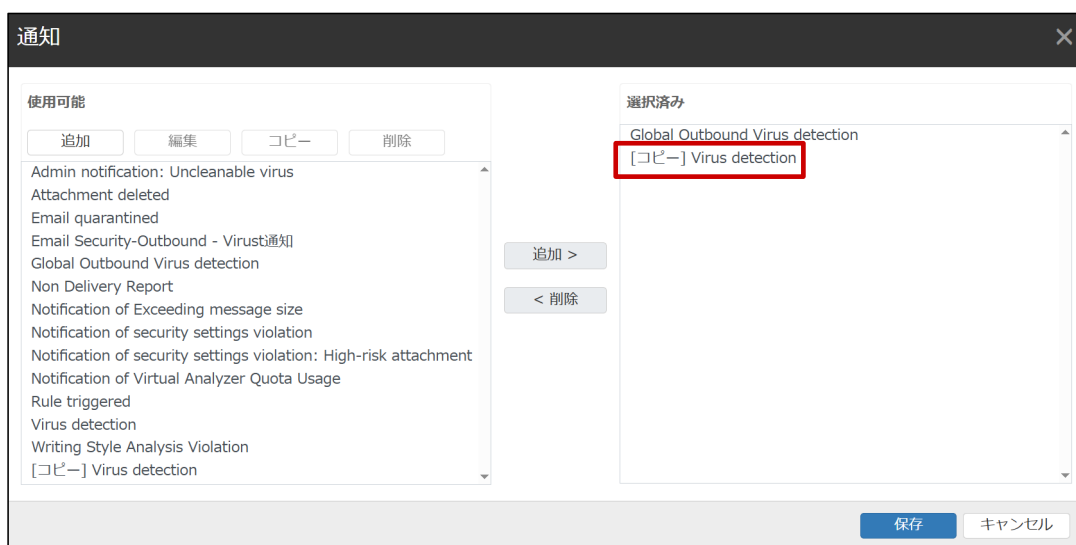
- (7) 「管理」の「通知」画面になりますので再度、「送信保護設定」の「ウイルスポリシー」をクリックし、設定しているルールをクリックします。

- (8) 「処理」の「通知メッセージ」をクリックします。

- (9) コピーして編集したメッセージを選択し、「追加>」をクリックして、選択済みに移動します。



(10) 選択済みに移動したら、「保存」をクリックします。



同じ手順で各ポリシーに通知メッセージの設定をします。

3.7. 隔離設定

「隔離」をクリックして各設定を行ってください。
必要に応じて隔離の各設定をします。



各設定方法はオンラインヘルプをご確認ください。

3.8. テストメッセージの送信

ES R2 あんしんプラスからテストメッセージを配信します。
動作確認のためのお客様メールアドレス (@前まで) を入力し、テストメッセージが受信できるか確認します。

【注意】

テストメッセージの送信先は空欄でもエラーは発生しませんが、正常にドメイン登録が完了したことを確認する重要な工程のため必ず入力してください。

テストメッセージの受信ができないまま導入を進めた場合、運用開始後にメールが受信できなくなる可能性があります。

テストメッセージが受信できない場合、ファイアウォール等の設定をしてから再度、テストメッセージが受信できることを確認して次の工程へ進んでください。

①テストメッセージを送信します。

「ドメイン」を選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。



② 「ドメインの編集」画面が表示されます。

テストメッセージの送信先に受信するメールアドレスを入力して「テスト」をクリックします。

ドメインの編集

全般

受信サーバ

送信サーバ

全般

*ドメイン名: net

追加するサーバで管理されるメールアドレスのアットマーク記号 (@) の右側にある文字をすべて入力してください。

ドメインが確認されました。確認方法をチェックします。

☐ 初期設定のドメインレベルのポリシーの作成をスキップする

受信サーバ

* @ net 25 10 - +

受信サーバが確認されました。詳細な設定をチェックします。

テストメッセージの送信先: test@t.net テスト

送信サーバ

☒ 送信保護を有効にする

送信サーバの指定:

☐ Microsoft 365

☐ Google Workspace

☒ ユーザ指定のメールサーバ

保存 キャンセル

③ テストメッセージが受信できたか確認をします。

件名：Trend Micro Email Securityからのテストメッセージ

送信者：test@tmems-jp.trendmicro.com

3.9. Microsoft 365をご利用の場合

Microsoft 365で管理するドメイン名をES R2（Trend Micro Email Security）へ統合する前に、Microsoftが推奨するすべての手順を実行し、それぞれのドメインに応じてMicrosoft 365のメール管理の設定を済ませてください。

参考

Microsoft 365の受信コネクタの追加

<https://docs.trendmicro.com/ja-jp/documentation/article/trend-micro-email-security-online-help-addin-g-office-365-in>

Microsoft 365の送信コネクタの追加

<https://docs.trendmicro.com/ja-jp/documentation/article/trend-micro-email-security-online-help-addin-g-office-365-ou>

4. ファイアウォールの設定変更

必要に応じてES R2サーバのメールメッセージを受け取るようファイアウォールを設定してください。

許可するアドレスは、「ドメインの編集」-「受信サーバ」の「①次のTrend Micro Email Securityサーバのメールメッセージを受け取るようファイアウォールを設定します。」の下にあるアドレスを設定してください。

ドメインの編集

受信サーバ

送信サーバ

受信サーバに接続できません。
MXレコードがTrend Micro Email Securityサーバを指すように設定されていません。
Trend Micro Email Securityを使用してメールメッセージを受信するには、次の手順に従ってください。

- ① 次のTrend Micro Email Securityサーバのメールメッセージを受け取るようファイアウォールを設定します。
18.176.203.128/26
18.176.203.192/26
18.177.156.0/26
18.177.156.64/26
15.168.56.0/25
15.168.49.64/26
15.168.56.128/26
- ② 【接続テスト】をクリックします。 接続テスト
- ③ 次のTrend Micro Email Securityサーバを、プリファレンス値が最小のドメイン内のMXレコードとして設定します。
in.tmems-jp.trendmicro.com
- ④ 【確認】をクリックします。 確認

保存 キャンセル

※ファイアウォールの管理者へ設定を依頼してください。

②の「接続テスト」をクリックします。

「正常に接続されました。」と表示されることを確認します。

ドメインの編集

受信サーバ

送信サーバ

MXレコードがTrend Micro Email Securityサーバを指すように設定されていません。
Trend Micro Email Securityを使用してメールメッセージを受信するには、次の手順に従ってください。

- ① 次のTrend Micro Email Securityサーバのメールメッセージを受け取るようファイアウォールを設定します。
18.176.203.128/26
18.176.203.192/26
18.177.156.0/26
18.177.156.64/26
15.168.56.0/25
15.168.49.64/26
15.168.56.128/26
- ② 【接続テスト】をクリックします。 接続テスト 正常に接続されました。
- ③ 次のTrend Micro Email Securityサーバを、プリファレンス値が最小のドメイン内のMXレコードとして設定します。
in.tmems-jp.trendmicro.com
- ④ 【確認】をクリックします。 確認

注意: DNSの変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。定期的にTrend Micro Email Securityによって変更がチェックされます。

保存 キャンセル

5. DNSの設定変更

5.1. MXレコードの設定

送信保護を有効にする場合は、「5.2. SPFレコードの変更・追記」を確認してDNSへの設定はMXレコードとSPFレコードを同時に設定してください。

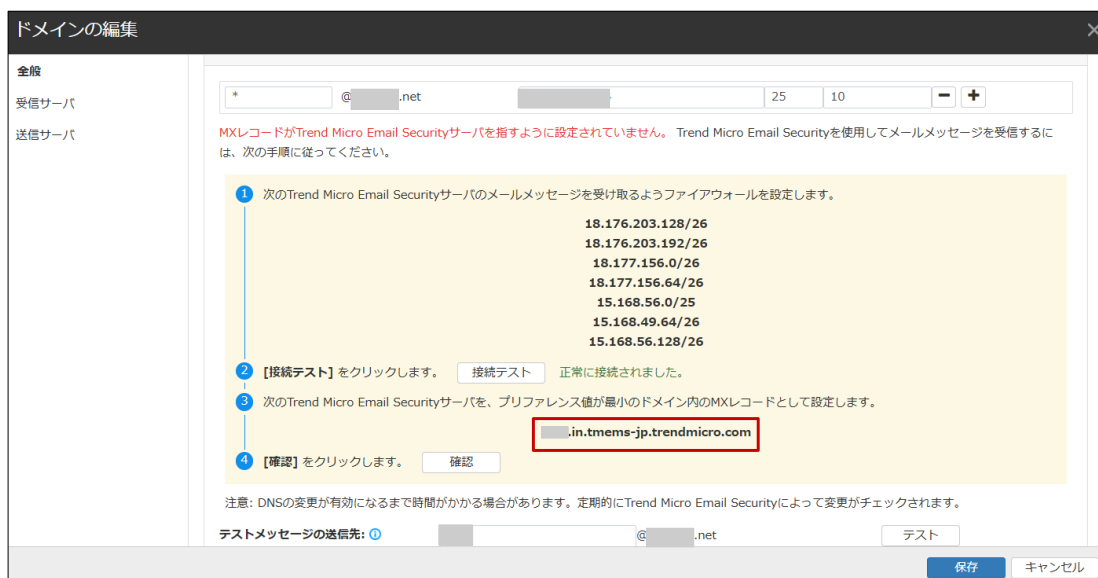
①設定するMXレコードの値を確認します。

「ドメイン」を選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。



②「ドメインの編集」画面が表示されます。

受信サーバの「次のTrend Micro Email Securityサーバを、プリファレンス値が最小のドメイン内のMXレコードとして設定します。」の下にある「xxx.in.tmems-jp.trendmicro.com」の値を控えます。(xxxはサブドメイン名)

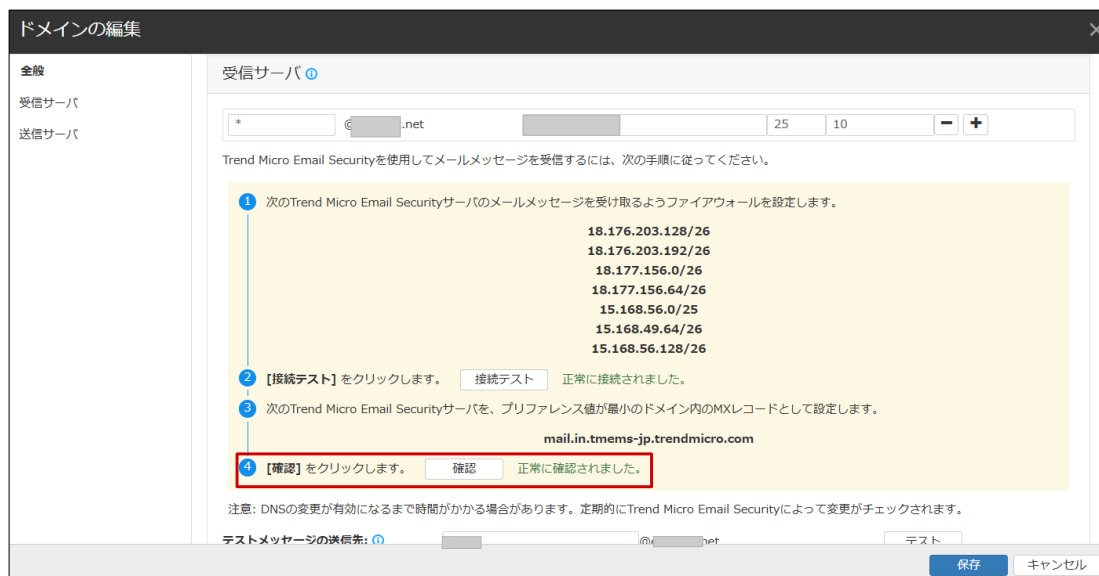


③DNSへ手順②で控えたMXレコードを設定します。

DNSへの設定はDNS管理者へご確認ください。

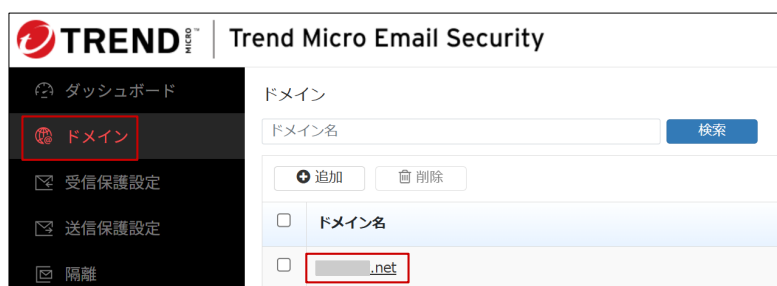
- ④DNSへMXレコード設定後、「確認」をクリックします。
「確認」の横に「正常に確認されました。」と表示されます。

注意：DNSの設定変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。エラーになった場合は少し時間がたってから再度確認してください。



5.2. SPFレコードの変更・追記（送信保護を有効にする場合）

- ①設定するSPFレコードの値を確認します。
「ドメイン」を選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。



- ②「ドメインの編集」画面が表示されます。
送信サーバの「ドメインにSPFレコードがある場合は、次のレコードが含まれていることを確認してください。」の下にある値を控えます。

ドメインの編集

全般

受信サーバ

送信サーバ

受信サーバが確認されました。[詳細な設定](#)をチャックします。

テストメッセージの送信先: @.net

送信サーバ

☒ 送信保護を有効にする

送信サーバの指定:

☐ Microsoft 365

☐ Google Workspace

☒ ユーザ指定のメールサーバ [?](#)

IPアドレス

ドメインにSPFレコードが登録されていません。Trend Micro Email Securityを使用してメールメッセージを送信するには、次の手順に従ってください。

- 1 ドメインにSPFレコードがある場合は、次のレコードが含まれていることを確認してください。
spf.tmems-jp.trendmicro.com
- 2 [確認] をクリックします。
- 3 送信メールサーバを次のTrend Micro Email Securityサーバにローディングします。
.relay.tmems-jp.trendmicro.com

③DNSへ手順②で控えたSPFレコードを追加設定します。

DNSへの設定はDNS管理者へご確認ください。

④DNSへSPFレコード設定後、「確認」をクリックします。

「確認」の横に「正常に確認されました。」と表示されます。

注意：DNSの設定変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。エラーになった場合は少し時間がたってから再度確認してください。

ドメインの編集

全般

受信サーバ

送信サーバ

受信サーバが確認されました。[詳細な設定](#)をチャックします。

テストメッセージの送信先: @.net

送信サーバ

☒ 送信保護を有効にする

送信サーバの指定:

☐ Microsoft 365

☐ Google Workspace

☒ ユーザ指定のメールサーバ [?](#)

Trend Micro Email Securityを使用してメールメッセージを送信するには、次の手順に従ってください。

- 1 ドメインにSPFレコードがある場合は、次のレコードが含まれていることを確認してください。
spf.tmems-jp.trendmicro.com
- 2 [確認] をクリックします。 **正常に確認されました。**
- 3 送信メールサーバを次のTrend Micro Email Securityサーバにローディングします。
.relay.tmems-jp.trendmicro.com

6. 動作確認

6.1. ステータスの確認

- ①管理コンソールへログインします。
- ②ドメインのステータスを確認します。
メニューバーから「ドメイン」をクリックします。
ステータスを確認します。「完了」の場合は、受信テストへ進んでください。



The screenshot shows the 'ドメイン' (Domain) management page. On the left is a sidebar with navigation links: ダッシュボード, ドメイン, 受信保護設定, 送信保護設定, 隔離, ログ, レポート, and 管理. The main area has a search bar for 'ドメイン名' and a '検索' button. Below is a table with columns: ドメイン名, 受信サーバ, 送信サーバ, 追加日時, and ステータス. One entry is shown for 'es.njcpt.net' with status '完了' (Completed), which is highlighted with a red box. The table also includes '追加' and '削除' buttons and a pagination indicator '表示: 1 - 1 / 1 | 10 件/ページ'.

ドメイン名	受信サーバ	送信サーバ	追加日時 ↓	ステータス
es.njcpt.net	54.178.62.174	54.178.62.174	2025/07/11 11:42:07	完了

ステータスが「設定が必要」の場合は、再度「5.DNSの設定変更」を確認してください。

6.2. 受信テスト

- ①テストメール送信
他ドメインのメールアドレス（例 xxx@njc.co.jp）からお客様のメールアドレスへテストメールを送信します。
- ②テストメール受信
テストメールを受信します。
- ③メールの確認
メールを受信したことを確認します。
- ④管理コンソールからの確認方法
 - (1)管理コンソールへログインします。
 - (2)「ログ」を選択し、「メール追跡」をクリックします。



The screenshot shows the 'メール追跡' (Mail Tracking) page. The sidebar on the left has 'ログ' (Log) highlighted with a red box. The main area has tabs for 'メール追跡', 'ポリシーイベント', and 'URLクリック追跡'. Under the 'メール追跡' tab, there are search conditions: '期間' (Period) set to '過去1時間' (Past 1 hour), '方向' (Direction) set to '受信' (Received), and fields for '受信者' (Receiver) and '送信者' (Sender). A note says '複数のエントリを区切るには、<Enter>' (To separate multiple entries, use <Enter>).

(3)種類で「検索されたトラフィック」を選択し、下記条件入力後「検索」をクリックします。

The screenshot shows the Trend Micro Email Security console interface. On the left is a navigation menu with options like 'ダッシュボード', 'ドメイン', '受信保護設定', '送信保護設定', '隔離', 'ログ', 'レポート', and '管理'. The main area is titled 'メール追跡' and contains search filters. A red box highlights the '種類' (Type) dropdown menu, which is set to '検索されたトラフィック' (Traffic searched). Another red box highlights the '検索' (Search) button at the bottom. To the right, a table displays search results with columns: '日時' (Date/Time), '送信者' (Sender), '受信者' (Receiver), '処理' (Action), and '件名' (Subject). The table shows several entries, with two rows highlighted by red boxes: one for '2025/07/14 15:03:51' and another for '2025/07/14 14:10:04', both showing '受信テスト' (Receive Test) as the subject.

日時	送信者	受信者	処理	件名
2025/07/15 17:00:54	test@tmems-jp.trendmicro.com	net	配信済み	Trend Micro Email Securityからのテストメッセージ
2025/07/14 15:03:51	jp	net	配信済み	受信テスト
2025/07/14 14:10:04	jp	net	配信済み	受信テスト
2025/07/11 18:16:58	test@tmems-jp.trendmicro.com	net	配信済み	Trend Micro Email Securityからのテストメッセージ

検索結果に表示されれば、「ES R2 あんしんプラス」を経由しています。

6.3. 送信テスト

- ①テストメール送信
お客様ドメインから他ドメインのメールアドレス（例 xxx@njc.co.jp）へ、テストメールを送信します。
- ②テストメール受信
テストメールを受信します。
- ③管理コンソールで確認
受信テストと同様の手順で条件の方向を「送信」に変更して確認してください。

クラウド型Emailゲートウェイセキュリティサービス

Email Security R2 あんしんプラス 導入手順マニュアル

発行日 : 2025年8月6日

発行元 : 日本事務器株式会社